

出し抜いて。
ミラーボールを



京蔵屋くノ壺



前回までのあらすじ



大学生サンジは
就活の傍ら
バイトに励む日々を
送っていた

たつて
ハイトは

まあ
こんな所でも
良イトゴだぜ

ある日、
常連のミホークの
倅である
ロノアソロを
紹介される

場所でのば
人が賣てる
もんだろ
そういふ事だ

金に困っていたサンジは
『オカマクラブ・カマバツカ』で
バイトに勤めていたが、

カン毎度
らっしやい
ませ

何か特別な感情が芽生えつつ
連絡先を交換するわけでもなく
ソロとはそれっきりの関係で
終わってしまい、

ソロは生真面目そうな
歳上の男であったが
サンジが酔い潰れてしまい
そのまま送り狼されてしまう

オレぐらい
色男なら
どんな格好だって



しかし数日後
サンジの就活の面接の日、

面接官としてその場に
いたのはソロだった

あーっ!!!!

サンジの人柄を
気に入ったソロは
彼に即採用を言い渡し

採用だぞ
おまえ

ソロが副社長を務める
『ジュラキュールカンパニー』
の内定をサンジは
決めることができた

モノ好きな
野郎だぜ

時間
割いて貰って
感イけど
オレこじや
働けないだろ?

帰る?

そしてソロとの関係は…









自惚れんなっ



ああ、

だから
おまえ最近
機嫌悪かったのか



あれ以来
会ってるのに
手エ出して
来ないから
不満なんだろう？

違うっ

しようがねえだろ
俺には休日だつて
あつてないような
もんだしよ



俺は今夜
そのつもり
だったんだけど

！



化粧
してねえな

下着は
どんなだ？

おいっ
おいっ

そういう
ことだろ



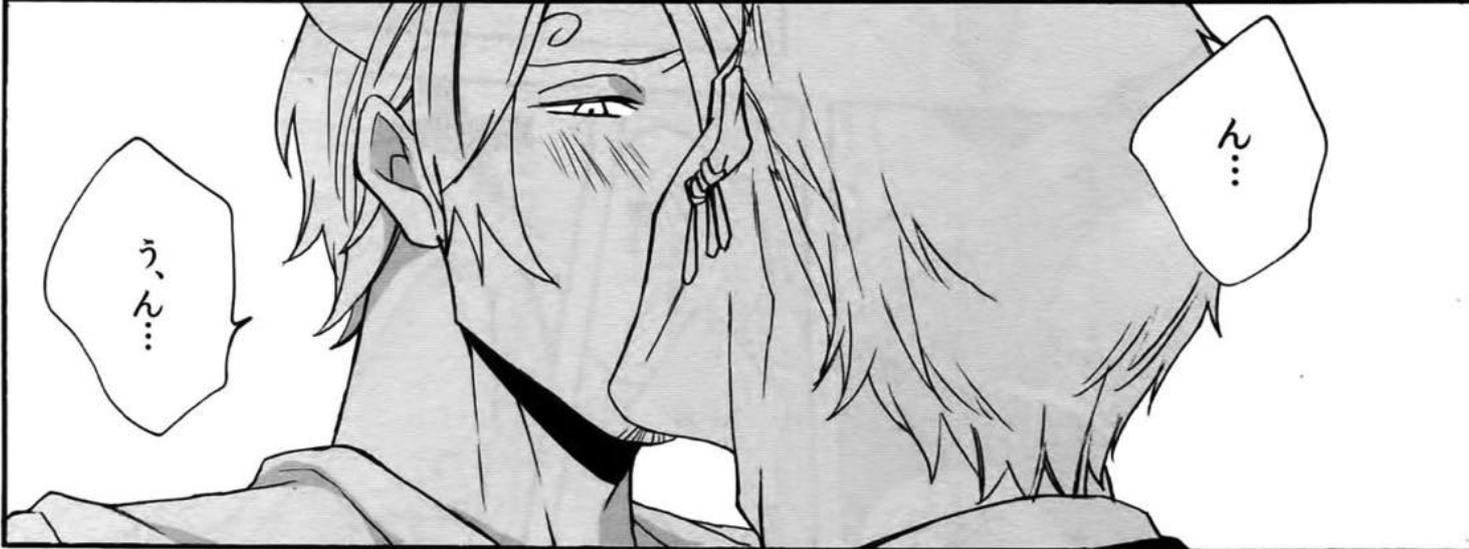
閉店したら
その後は
いいだろ？



ここ
店だから…っ



おまえは？



うん…

ん…



もっつ
わがったがっ…

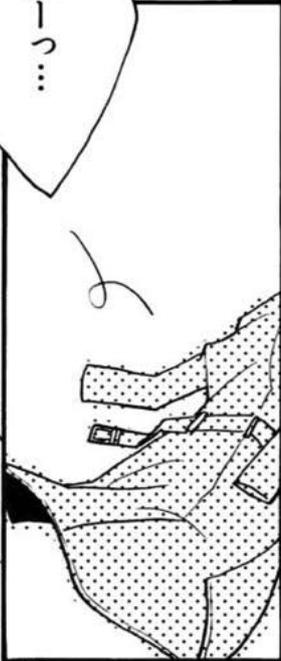


!

早く
その白衣を
ぐちゃぐちゃに
してやりてえ



ふーっ…



店出る時に
店長から借りた
似合うか？



コート着て
たとしても
通行人に
怪しい奴だつて
思われた絶対…
こんな格好で
外歩いてラブホ
なんて変態じゃ
ねーか！

心配ないだろ
この界限は
もつとへんなのが
沢山いるしよ



せめて
着替え
させろよ！
…っつて、

あんた
その白衣
どうしたんだ？





『先生』だろ？
あと上司には
敬語使え

『あんた』
じゃない

だからそれは
あんたの
せいだつ？

え？

少し前から
調子悪そう
だったな？



そうそう
なかなか
悪くねえな
その言葉遣い
忘れるなよ

先生の
せい...です！

せ、



...で？
俺のせい？
なんだつて？

あ？
触らないと
わかんねえだろ

あ...
そんな
急に...





触診してる
だけなのに
なんで勃起
させてんだ

だっっ
そんな
触り方...っ

んっ？
濡れてきたぞ
触っても
よくわかんねえな

体がおかしくても
自分じやどうにも
できなかつたんだろ？

はあっ♡
ゾっ...せんせ...

むに
むに

がむっ♡

んっ♡

あぁ...

がむっ♡

んっ♡



なんで...

あ...っ
あ...っ...あ、

なんでって、



せつ、先生が
あんな風に
したからっ

ぬさ

そうだな
簡単に忘れられ
ねえぐらい
丁寧に抱いた

ぬさ

ぬさ



おれのものだったって...
また会いたかったって
言いやがったくせに

しかも
あんな
無理矢理...っ



ラァッ

はあま

とっ

ビュッ



こうやって
全部暴いて
やりたいぐらい
好きなんだよ

ビュッ

ビュッ

ビュッ

ん…は…っ

はあっ♡

濡れて下着
透けてんぞ

どれだけ
出したか
見てみない
となあ

あッ

ザーメン
くせえ
量は…
まあまあだな

ああっ♡
やめ…先生!

あッ
あッ
あッ

あッ
あッ
あッ

あッ
あッ
あッ





おまえが
本気で嫌がる
ことは
しねえよ



だからっ
まだそっちは
いいって...



クソ
クソ
クソ



クッ
クッ

クッ
クッ
クッ

クッ
クッ
クッ



こっちは
弄ってねえ
ようだが
感覚は覚えてる
みたいだな

しん

そこは……!

あ、あ、あ……
あ、あ、あ……

だめっ♡

そこダメだって……!
またいつちやうからっ♡

さつき
いったのに
もうか?





奥に
押し付けられるの
好きだよな

あ...っ

悪くない
だろ？

どうなんだよ
イイなら
イイって言え

イイっ♡

気持ちいい...！
イイからあつ♡

ふ...っ...んう

ぬ...っ

あ...っ

あ...っ





あ……あ……

あ……あ……

も……
ダメだって……

アっ、んあ
中……
きちょう……

だめっ……
イ、イク……!



あ……?

ゾ……せんせ、

なんで、
……もうちょう……

あ……



いきそう
だったのに
何で
抜いたかって？



おまえに
効果観面に
効くのは
俺じゃねえとな



玩具なんかで
悦がるおまえ
見るのも
いいけどよ、









今更
意地張っても
仕方がねえし

そうか



今日俺が
店に行くって
言ったとき
期待したか？

…まあ



おかしかったのは
おまえだけ
じゃなかったんだぜ

そんな顔見てたら
早く抱きたくて
堪らなかった



そのわりには
随分余裕そう
だったな？

玩具使う
ぐらいにはな



どっか
不満そうな顔
してた
会社でも

そう
見えた？

ああ
嬉しかった

[END]



本誌の白ひげのところにいた
ナースちゃんの衣装をお借りしました

サンジ→大学新卒生。一応サラリーマン

ゾロ→本社の副社長で30歳ぐらい

女装本2冊目。続けるつもり全くなかったんですけど、
以前【医者×ナース】がTwitterのアンケートで一番票が多かったので
「せっかく票入れて貰ってるし、その内描こう」と思っていました。
それで今回、出したかった本が出せなさそうだったので
急遽医者×ナースを描くことにしました。

服装だけでプレイには何の影響もありませんでしたが、
これが己の力量ってやつですね。

あとは、ゾロサンのエロ本描いてきた中で玩具は未使用だったってことぐらいかな。
あまり得意でないので、すぐに退場して戴きました。
また取るに足らない女装させたら描きます。



2016年12月30日 (発行延期したので10月発行記実は間違いです)

発行日 : 2016年10月29日

発行者 : 京蔵屋 / くろ志

連絡先 : pixiv --- <http://pixiv.me/hugaku0036>

TwitterID --- hugaku0036

印刷處 : あかつき印刷さま

注意 : この本は個人の趣味の元、非営利目的で作成されたものです。
 公式とは一切関係性はありませぬ。
 ネットオークションへの転売は禁止します。

Kyozoya
---Kunoichi

2016
---10/09

Sanji Dressing Series-02
Outflank
the Mirror ball.



ONE PIECE Fanbooks#44
ZORO SANJI R18

